



第24号誌

2026年 [制作・発行]

- 行田市在宅医療・介護連携推進協議会
- 行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当

TEL.048-556-1111
(内線 338・278)



行田人(ぎょうだびと)は、行田市の「医療と介護の連携」を推進・紹介し、市民のみなさんの生活をサポートする広報誌です。



薬剤師の訪問薬剤指導ってなに？



薬剤師が、ご自宅に訪問して、お薬についてサポートを行います！

ご自宅でのお薬についてのお困りごとは、**薬剤師にお任せください！**

例えば…

- 薬の使い方、飲み方について知りたい。
- 薬の管理ができない。
- 薬を飲み忘れてしまう。
- 薬が飲み込めない。嚥下できない。
- 薬を飲みたがらない、飲まない。

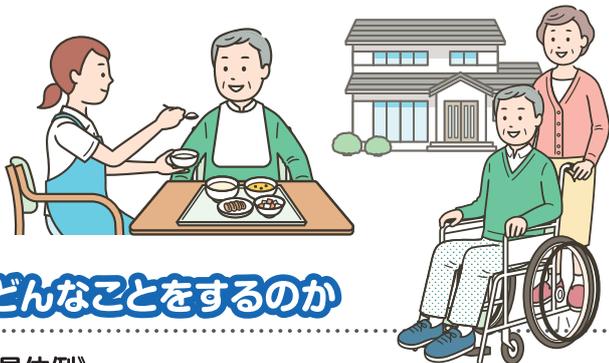


薬剤師がご自宅に訪問して、医師、訪問看護師、介護ヘルパー、ケアマネジャーなど、**多職種と連携**して情報共有を行い、在宅で療養されている方を支援します。

対象の方

- 在宅で療養されている方で、**通院が困難な方**※
- 薬剤師による訪問薬剤指導が必要な方(薬の管理や、飲み忘れなどが心配な方)医師の指示に基づき、薬剤師が訪問して訪問薬剤指導を行います。

※通院困難とは、身体機能や認知機能が低下した結果、ご自身だけでは通院できないことです。



どんなことをするのか

《具体例》

ご自宅で、お薬の使い方や、保管方法を説明します。
残薬がある場合は、数を確認して、残薬調整(使える薬を再利用)を行います。

お薬を飲み忘れないようにする工夫

- お薬を一包化(飲むタイミング毎に薬を1つの袋にまとめる)してお薬カレンダーにセットします。(日付、氏名、飲み方などを一包化の袋に記載することで、飲み間違いを防止します。) 訪問看護師、介護ヘルパーの方にも協力をお願いして、訪問した時に薬が残っていないか確認してもらうなどします。



- 2か所以上の医療機関に受診している方で、それぞれバラバラに飲むと、飲み忘れてしまったり、飲み間違えてしまう場合は、全てまとめて一包化することもできます。

まとめて一包化

A病院

+

Bクリニック

+

Cクリニック

日めくりカレンダー

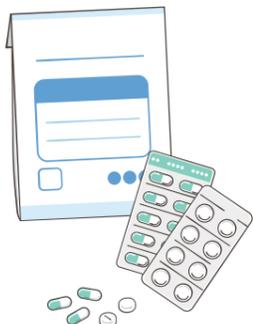


介護施設をご利用の方も、患者さんごとにお薬を整理整頓できます。



お薬を飲みやすくするための工夫

- 1日3回飲む薬を1日2回や、**1日1回**でよい薬に切り替える。
- 食後、食前、食直後など、飲むタイミングの混在を避けて、統一する。(食後だけ、食前だけなど、飲み方を統一)
- 服薬する薬剤・錠数が多い。薬が飲めない(嚥下できない)。飲みたがらない。
- 飲み薬から、同じ効果の貼り薬に変更してもらう。(誤嚥の防止)
- 同じ薬効2~3剤を効果の強い**1剤か配合剤**(2種類以上の有効成分を含有する薬)にまとめる。(錠数を減らす)



薬剤師の訪問薬剤指導の費用について

診療を受けている患者様の人数	介護認定を受けている方(介護保険)	介護認定を受けていない方(医療保険)
同じ建物に1人	518円	650円
同じ建物に2~9人	379円	320円
同じ建物に10人以上	342円	290円

※金額は1回あたりの金額で、1割負担の場合です。介護認定の有無や、同じ建物に患者様が複数いる場合(老人ホームや介護施設など)などによって金額は変わります。詳しくはご利用の薬局にお尋ねください。介護認定を受けた方は、原則として介護保険になります。(介護保険被保険者証に「要支援1・2」または「要介護1~5」の記載がある方です。)

医療保険では、「在宅患者訪問薬剤管理指導料」、介護保険では「居宅療養管理指導」という費用がかかります。



Q&A

Q1 利用するには、どこに相談すればいいの?

診療を受けている医師や、薬局の薬剤師、ケアマネジャーなどに相談してください。

医療情報ネットから探すこともできます。

(<https://www.iryuu.teikyouseido.mhlw.go.jp/znk-web/juminkanja/S2310/initialize?pref=11>)



医療情報ネット(埼玉県)



Q2 訪問診療を受けていなくてもいいの?

医師による訪問診療を受けていない方でも、通院困難な方は対象になります。

例えば、家族等の付き添いがなければ通院できない方や、通院困難な方に該当します。

例) タクシーで通院できるが、運転手などに介助してもらう必要がある方。

家族の付き添いで送り迎えがなければ通院できない方。

※対象外: 介助を受けず一人で、タクシーで通院できる方

Q3 緊急の時はどうなるの?(夜間、休日など)

夜間、休日などの緊急時にも対応できる薬局があります。詳しくは薬局にお尋ねください。

Q4 飲み薬以外にも、注射や輸液は対応できるの?

高カロリー輸液を提供できます。薬局の設備(無菌調剤室など)により、輸液や注射剤を無菌で調整することも可能です。対応可能かどうかは、薬局にお尋ねください。対応可能な薬局をご紹介しますこともできます。

薬剤師を知る! 薬の力をチームの力へ ~現場で活かす学びと安心のACP研修~ 報告

27事業所 110人参加

~研修内容~

● 講義

医師、薬剤師からそれぞれの視点から服薬に対する課題や支援のポイントなどの説明を受け、ケアマネジャー、介護福祉士から実際の症例を紹介

● グループワーク

グループワークにて、更にそれぞれの課題の抽出、チーム内であげられた疑問・質問の回答役として薬剤師をチーム内に1名ずつ配置し、課題解決に向けたグループディスカッションを行いました。

参加者アンケートでは、講義の内容の満足度97%、グループワーク満足度94%、薬に関する不安や問題の解決度97%と多くの方から好評を頂きました。研修会全体の満足度も91%と、多くの皆様にご有意義と感じていただく結果となりました。



安全に確実な服薬管理と 多職種連携の力を深堀!

今回の研修では、これまで関わる機会の少なかった薬剤師の専門性に改めて焦点をあて『薬剤師と繋がる』『薬の悩みを解決する』ことを目的に開催いたしました。

在宅では、『薬が増えすぎて管理ができない』『飲みこめないので潰して飲んでいる』『湿布が山ほどある』。施設では、『ごはんに混ぜて飲む』『飲む時間をまとめている』など、これで良いのか分からないまま漠然と行っているケースもあり、これらの事例の課題解決に向けて取り組みました。



広報誌「行田人」バックナンバーのご案内

行田市ホームページ内にて「行田人」のバックナンバーがご覧いただけます。

「行田人」は、市民の皆様へ向けた医療・介護に関連するさまざまな情報を毎号ご紹介しています。

右記のQRコードから、ぜひご覧ください →



ご存じですか? 「100歳体操」

行田市では以下の場所で100歳体操を実施しております。
見学からでも大丈夫ですので、参加を希望される方や活動時間などの詳細についてのお問合せは、地域包括支援センターまたは市高齢者福祉課へお願いいたします。

※令和8年1月16日現在 ※月・週により開催曜日が異なる場合があります。

実施団体	活動場所	活動場所住所	開催曜日	担当包括
柿の実火よう会	ふぁみいゆ東館	下須戸65-1	毎週火曜日	ふぁみいゆ
100歳の会	オシノテラス	本丸18-3	毎週木曜日	ほんまる
桜ヶ丘いきいきサロン	桜ヶ丘集会所	長野1894-1	第1・3火曜日	緑風苑
いきいきサロン「笑顔」・三持田永寿会	三持田自治会館	持田836	毎週金曜日	壮幸会
荒木さつき会	荒木八王子集会所	荒木5230 (常世岐姫神社 敷地内)	第2・4火曜日	緑風苑第二
城西交和会・城西いきいきサロン	城西ふれあい館	城西1-5-18	毎週木曜日	ほんまる
いきいきサロン押上	押上町自治会館	棚田町1-58-19	第1・3水曜日	壮幸会
スキルクラブ	城西ふれあい館	城西1-5-18	毎週月曜日	ほんまる
サロンたんぼぼ	門井自治会館	門井町1-12-5	毎週火曜日	壮幸会
いきいきサロン福寿草	野文化センター	野887	毎週金曜日	ふぁみいゆ
西新町いきいきサロン	西新町自治会館	棚田町2-1-10	第1・4火曜日 第2・3水曜日	壮幸会
100歳元気サークル	菊野台自治会館	持田3-26-8	毎週月曜日	壮幸会
マイステップ	みらい	佐間3-24-7	毎週水曜日 (月2回程度)	ふぁみいゆ
スボラ飯サロン	ウエルシア佐間店	佐間1-5-5	毎週火曜日 (3週目を除く)	ふぁみいゆ
中央いきいきサロン	中央会館	中央10-6	毎週木曜日	ほんまる
勝呂百歳体操	若小玉勝呂自治会館	若小玉2630	毎週月曜日	ふぁみいゆ
棚田町いきいき100歳体操	棚田自治会館	棚田町1-29-7	毎週木曜日	壮幸会
神明いきいきサロン	佐間公民館	佐間3-1-37	毎週火曜日	ふぁみいゆ
南河原100歳体操クラブ	南河原荘	南河原2610	毎週木曜日	緑風苑第二
須加100歳体操クラブ	須加公民館	須加4650-2	毎週木曜日	緑風苑
菅谷自治会	菅谷集会所	持田2563	毎週月曜日	ほんまる
柿の実金よう会	ふぁみいゆ東館	下須戸65-1	毎週金曜日	ふぁみいゆ

通いの場はどんな効果があるの?

行田人第22号で通いの場を紹介しましたが、皆さん、体操、趣味活動、文化活動等の場を通じた介護予防を行っていますか。

通いの場は、介護予防や健康維持に大きな効果をもたらし、社会参加を促進する

ことで認知機能にも重要な役割を果たしています。さらに家の外に出ることで孤独死のリスクを下げる狙いもあります。

通いの場(行田市HP)



また、通いの場として市が推進している「100歳体操」ですが、体操を週1回以上、3か月間行った結果、50代～90代全ての年代で体力測定の数値が向上されました。※おもりを使う体操を行った854人の調査結果(埼玉県理学療法士会のデータより)

これから暖かい季節になりますので、明日の健康のためぜひ通いの場へ参加しましょう。



「行田人(ぎょうだびと)」は、市内医療機関、歯科医院、薬局、介護事業所、市役所窓口等で配布しております。ご希望の方は各機関の窓口にてお申し出ください。

